

高粱^{DE} カウコンフォートその1 (牛床の改善)

高粱管内 M牧場

事例の内容

M牧場は、対頭式つなぎ牛舎で経産牛46頭、育成牛16頭を飼養する酪農経営です。牛床はコンクリート(長さ約175cm)で、飛節が擦れたり、腫れている牛が目立っていました(写真1)。

これまでも、特に足の悪い牛には、薄いゴムマットや古畳を使用して対応していましたが(写真2)、より抜本的な対策として、ゴムチップマットレスの導入を提案したところ、牛床の一部に導入されました(写真3、4)。



写真1 飛節のスレ



写真2 足の悪い牛にゴムマットを敷いている



写真3 マットレス設置前



写真4 マットレス設置後

マットレス設置から3ヶ月程度しか経過していないため、詳しい効果については調査中ですが、出産直前からマット設置牛床に入った初産牛の飛節は、3ヶ月後も滑らかでハゲ、腫れ等の問題はでておらず、今後の成果が期待されています。

技術解説

1 牛床改善が必要な理由

コンクリートの牛床は敷料が少ないとクッション性がなく、濡れると滑りやすくなる。牛床が固かったり凸凹があると蹄や関節への負担が大きく、特に寝起き時の関節(前膝や飛節)へのダメージが大きくなる。これらは全て食い込み(乾物摂取)量の減少につながり、最終的には乳量の減少や疾病という形で返ってくる。

2 快適な牛床とは？

- (1)クッション性が高く関節の擦り傷や腫れがでにくい。
- (2)寝起きの際にどこにもぶつからず、頻繁に横臥・起立できる。
- (3)採食や飲水が自然な姿勢でできる。

3 設置したゴムチップマットレスの内容

- (1)設置日：H13年12月に10枚設置(写真5)
- (2)設置マット：ゴムチップマットレス 幅122cm×長さ165cm
重さ 約 45kg 厚さ 5cm
特徴：クッション機能(ゴムチップマットレス)と耐久機能(マットを覆うトップカバー)が分離したタイプのもの(図1)。
- (3)設置費用：1頭当り 約17,000円程度(自家設置)
 - ・ゴムチップマットレス、プラスチック板、トップカバー：14,800円×10枚=148,000円
 - ・ネジ、ネジ留め：130円×16本×10枚=28,000円



写真5 ゴムチップマットレス設置状況

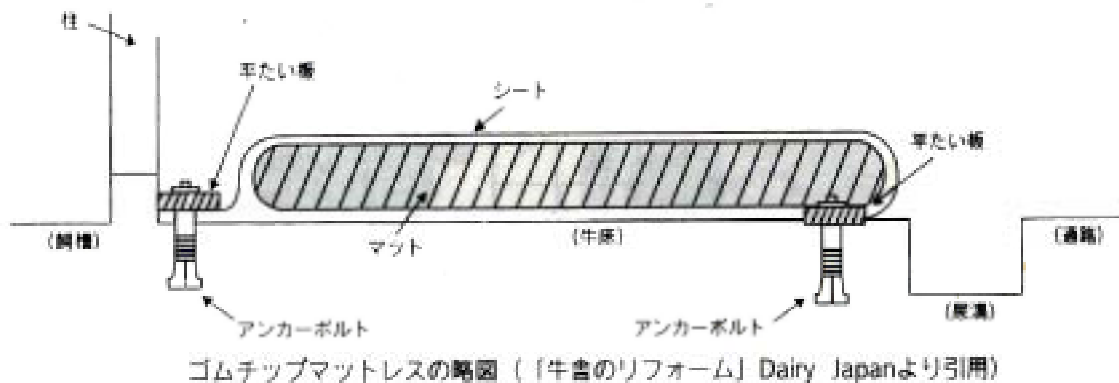


図1 ゴムチップマットレスの略図

参考にする場合の留意点

- 1 マットを設置後もオガクズ等の敷料を使う必要がある
- 2 マット設置に伴い、飼槽やネックレールの高さを再調整する必要がある
- 3 マット保護の面からも飼槽との仕切り板は必要である
- 4 色々なマットがあるので、牛舎構造に合ったマットを選ぶのがよい

高梁農業改良普及センター 宮本 康子